

各都道府県消防防災主管部長 } 殿
東京消防庁・各指定都市消防長 }

消防庁危険物保安室長

「地下貯蔵タンクの砕石基礎による施工方法について」の一部改正について

地下貯蔵タンクの砕石基礎については、平成8年10月18日付け消防危第127号消防庁危険物規制課長通知「地下貯蔵タンクの砕石基礎による施工方法について」（以下「127号通知」という。）別添の『地下貯蔵タンクの砕石基礎による施工方法に関する指針』により、その運用をお願いしてきたところです。

この度、新たな施工方法の確立に伴い、その安全性が確認できたことから、127号通知の一部を下記の通り改正することとしましたので通知します。

貴職におかれましては、下記事項に十分留意の上、その運用に配慮されるとともに、貴都道府県内の市町村に対してもこの旨周知されるようお願いいたします。

記

別添の次の部分を変更する。

「1 堅固な基礎の構成 (2) 砕石床の寸法等」の表中
改正前

砕石床材料	寸法			備考
	長さ	幅	厚さ	
ゴム板	タンクの胴長以上	<u>タンクの径の3分の1以上の幅</u>	10mm以上	JIS K 6253「加硫ゴム及び熱可塑性ゴムの硬さ試験方法」により求められるデュロメータ硬さが A60 以上であること (タンク下面の

				胴部がゴム板と連続的に接しているものに限る。)
--	--	--	--	-------------------------

改正後

砕石床材料	寸法			備考
	長さ	幅	厚さ	
ゴム板	タンクの胴長以上	<u>400mm</u> 以上	10mm以上	JIS K 6253「加硫ゴム及び熱可塑性ゴムの硬さ試験方法」により求められるデュロメータ硬さが A60 以上であること (タンク下面の胴部がゴム板と連続的に接しているものに限る。)

改正前

(2) 砕石床がゴム板の場合

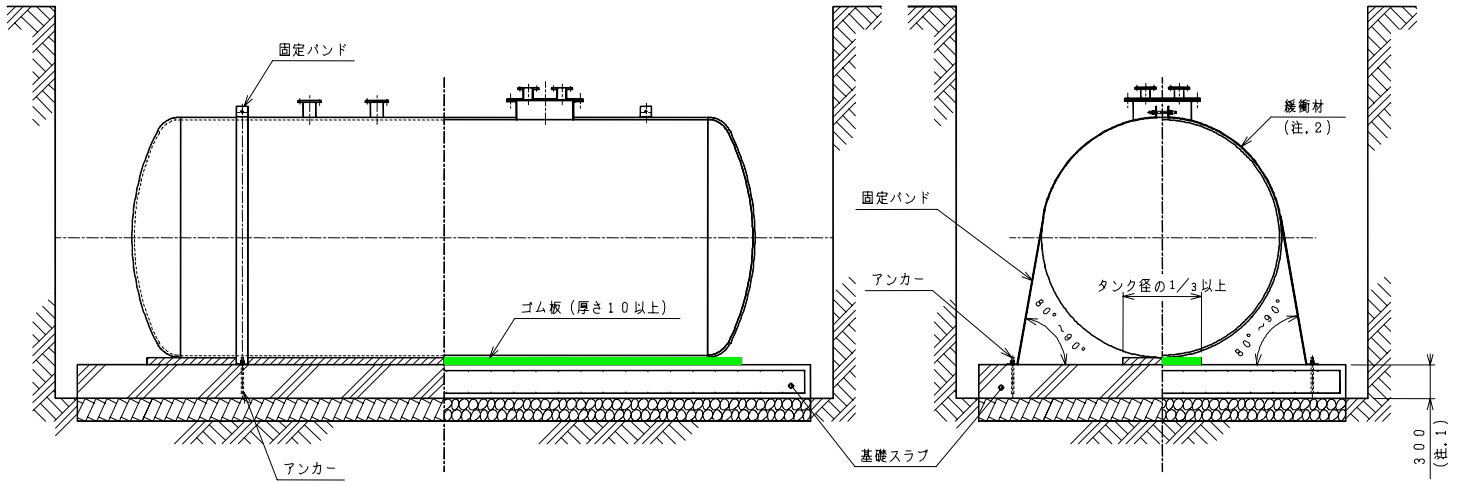


図 2 - 1 . 砕石床施工図

注記

(単位: mm)

1) . 300又は計算値

2) . 固定バンドの材質がFRPの場合は不要

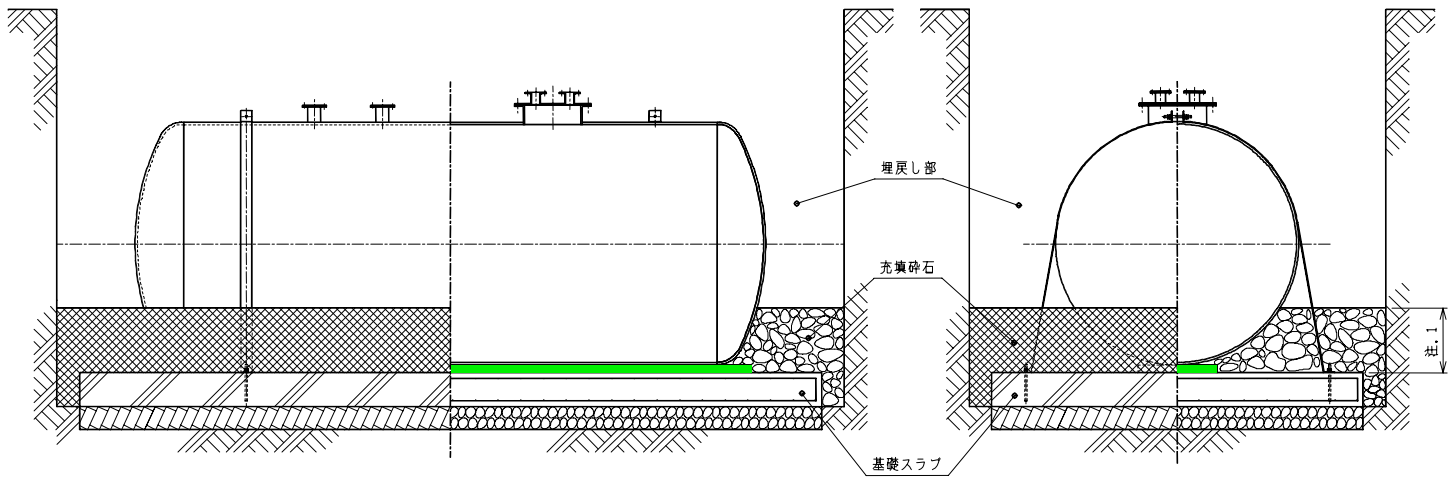


図 2 - 2 . 充填砕石施工図

注記

1) . タンク径の1/4以上

改正後

(2) 砕石床がゴム板の場合

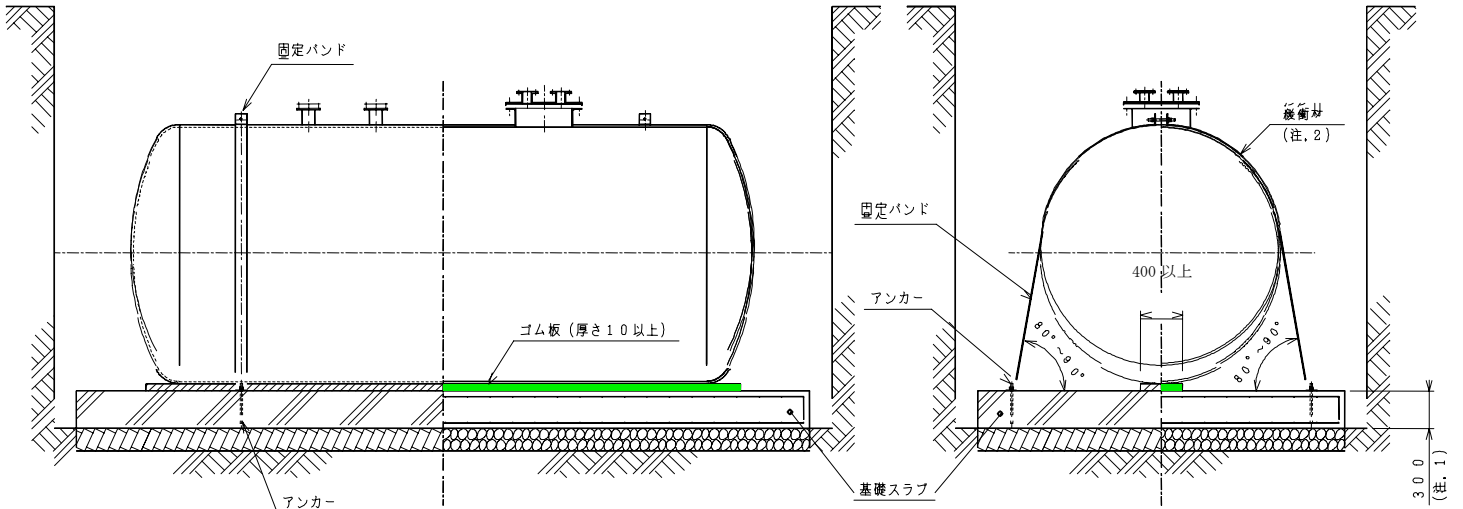


図 2 - 1 . 砕石床施工図

注記

- 1) . 300又は計算値 (単位: mm)
- 2) . 固定バンドの材質がFRPの場合は不要

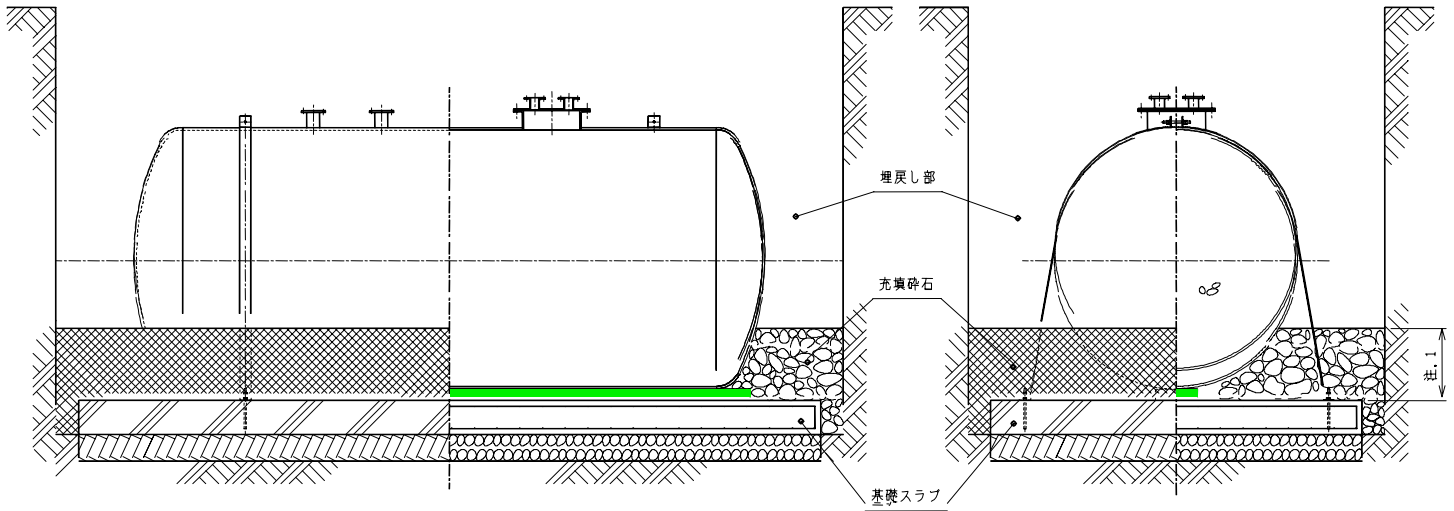


図 2 - 2 . 充填砕石施工図

注記

- 1) . タンク径の1/4以上